

# 金沢大学 高大接続 リーディングセミナー

Jose. 川島良彰ら『コーヒーで読み解くSDGs』（ポプラ新書、2023年）

Tue, 30, Jul, 2024



## 概要

リーディングセミナーでは、近年、大学界隈において話題の、高校生向けに書かれた（または高校生にも考えて欲しい）、新書や文庫を1冊、取り上げ、参加者で読書体験を共有します。

- ・趣旨とこれまでの模様

今回は、Jose. 川島良彰ら『コーヒーで読み解くSDGs』（ポプラ新書、2023年）を取り上げます（出版社の案内）。コーヒーを手がかりに、SDGsについて考えてみませんか。

## 重要

- ・図書は各自、書店や図書館で入手して下さい
- ・事前課題はこちらです

## 日時

- ・2024年7月30日（火） 13:30-17:00

## 会場

- ・金沢大学 角間キャンパス
  - インキュベーション施設 セミナー室1  
(1階)
  - Google Map
- ・公共交通機関 (via 北陸鉄道バス)
  - バス停（乗り口）
    - 金沢駅兼六園口（東口）8番乗り場発 93・94・97金沢大学行き  
(兼六園下経由)
  - バス停（下車）：金沢大学自然研前
    - インキュベーション施設まで徒歩5分
  - 時刻表（北陸鉄道バス 公式サイト）
    - 金沢大学行き/金沢駅行き

## 注意 | バス停から会場までのアクセス

- ・北陸鉄道バスを「金沢大学自然研前」で降り、連絡橋（南アカンサスインターフェース）を渡ってください
- ・連絡橋を渡ったあとは右手に進んでください。一番奥の建物が会場です
- ・インキュベーション施設の入り口はわかりにくく、プレートもかかっていません。新学術創成研究機構を目指してください（建物は連結しています）



南アカンサスインターフェース（入り口）



南アカンサスインターフェース



南アカンサスインターフェース（出口）ここを右手に進む

## Note | キャンパスの雰囲気を味わってみよう

- ・南アカンサスインターフェース（出口）を左手に進むと、もう一つ、連絡橋が出てきます（北アカンサスインターフェイス）。橋を渡った先が、1年生の共通科目、人間社会学域のメインキャンパスです



新学術創成研究機構（右手）



新学術創成研究機構（正面玄関）

#### Note | その他

- 服装の指定はありません

#### 事前課題

- 提出先 : Google Form
  - 開催日前日（7月29日（月）23時59分）までに、課題に答えてください
  - 当日は、事前課題をもとに、参加者で議論し、紹介文を作成します

#### オンライン

- 接続方法 : ZOOM
  - 13:00から入室可能です
  - 接続情報は、Google フォームに登録されたメールアドレスに、当日午前中にお送りします
  - メールが届かない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください
  - 少人数のグループワークです。できるだけビデオオンでご参加下さい

#### 配布資料

- オンラインストレージ : Google ドライブ
  - アクセス権が必要な場合は、適宜クリックするか、以下のメールアドレスにお問い合わせ下さい
- ウェブページ

#### アンケート（受講の感想など）

- 提出先 : Google Form
  - 翌日（7月31日（水）23時59分）までに回答下さい

#### 連絡先

- 担当講師（苅谷） : kariyach@staff.kanazawa-u.ac.jp
- 入試課 : 076-264-6082

## 重要

- ・当日、体調不良などで急きょ、参加できなくなった場合は、簡単で結構ですので、上記のメールアドレスに連絡下さい

※ ### その他 - このプログラムは金沢大学KUGS高大接続プログラム（大学での学び）の対象です - 特別入試に興味がある方は公式サイトをご覧下さい

## 紹介文

SDGsを身近に感じる人はあまり多くないだろう。どこか遠い国の違う地域で起きている関わりのない問題だから無関心な人もいるはずだ。実際に、この本を読んだ私たち高校生も、自分には関係のないことだと考えていた。しかし、この『コーヒーで読み解くSDGs』を読み終えた後は、そのように思う人はいなくなると思う。

この本は、コーヒーの生産過程から消費者に商品がいきとどくまでをSDGSとひもづけて、世界全体で起きている問題を考えようとしている。

1つ目の生産地の状況を把握し、知ることについて。多くの地域では、貧困、戦争により、男女の割合に差がある。そのため、コーヒーの収穫、管理は、女性労働者の割合が高い。また、女性は、家庭の仕事を多く行っているので、子どもや若年層の人たちが農業作業を手伝ってくれるかもしれない。これをきっかけに、後継者の育成ができる。よって、SDGs5「ジェンダー平等を実現しよう」と、SDGs8「働きがいも経済成陸？？？」

2つ目の消費は価格よりも味や品質にこだわることについて。コーヒーの値段を安定しないため貧困で困っている地域では、特にコーヒーの生産が難しい物になる。なので、コーヒーを安い物を買わずに、味や品質を重視した物を買うことが大切である。をうすることで、生産者の「良いコーヒーを作る」という意識が高まり、お互いにwin-winな関係を築くことができる。

この本は、コーヒー豆を買うことからSDGSができており、理解して行動し、どのようにして地球環境を守り、生産を行うか、また経済が発展してもなぜ貧困がなくならないのかを考えることがかかわっている。本書を読み進めていくと、コーヒーを持続可能なものにするために生産地の状況を把握し、知ること。消費者は、価格よりも味や品質にこだわり、そのようなコーヒー豆を提供してくれる店を選ぶこと。そして、環境破壊による気候変動によって、コーヒー生産地の移動・縮小が予測されること。この3つの要点が見えてくる。

3つ目の気候変動による生産地の移動・縮小について。様々な地域で気候変動が問題になっている。農業のための森林伐採、生物の環境破壊などがある。解決策としては、● 生産地域の移動を行うこと。しかし、移動した場所で同じような気候変動が起こると、また移動しなければならない。こういった悪循環が起こってしまう可能性がある。そこで、その地域の特色にあったコーヒー豆の生産する品質改良やコーヒーの生産の仕方を考える必要がある。よって、SDGs13「気候変動に具体的な対策を」を考えることができる。